

2011年6月に『能登の里山里海』『トキと共生する佐渡の里山』が国連食糧農業機関 (FAO) から、世界農業遺産 (Globally Important Agricultural Heritage Systems, GIAHS) に認定され、丸2年を迎えます。GIAHS認定を活かし、里山里海を維持し、さらに発展させる必要があります。

このたび、GIAHSの創始者であり(2002年)、事務局長として精力的に活動されてきたパルヴィス・クーハフカン氏をお招きしてセミナーを開催します。セミナー1日目は、パルヴィス氏から、現代世界における農業の役割と危機、GIAHSの意義、先進国として初めて認定された日本と能登・佐渡への期待を、石川県、能登、佐渡のGIAHS関係者(農林漁業者、自治体、行政機関、大学等)にむけて語っていただきます。2日目には、GIAHSに関心を持ち、能登で活躍する若者達が、パルヴィス氏に向けて、自分たちの活動と抱負を語ります。この2日間のセミナーが、パルヴィス氏との「直接対話」の機会となり、能登と佐渡のGIAHSの取り組みを促進し、若手人材の育成、地域の活性化、持続的発展に向けたネットワークづくりの場となることを目指しています。

世界農業遺産

国際GIAHSセミナー

～パルヴィスGIAHS事務局長と日本のGIAHSを担う人々との対話～

》 1日目

行政、農業者、大学研究者との対話

日時 **2月19日(火)** 午後2時～午後4時30分

会場 **ラポルトすず 1F小ホール**
〒927-1214 珠洲市飯田町1丁目1-8

言語：日本語と英語／通訳あり

[プログラム]

- スピーチ パルヴィス・クーハフカン(GIAHS事務局長)
 - 報告1 泉谷満寿裕(珠洲市長)
 - 報告2 甲斐元也(佐渡市長)
 - 報告3 小路晋作(能登「里山里海マスター」育成プログラム)
 - 対話集会 [司会]中村 浩二(金沢大学教授・学長補佐)
- ～終了後に交流会(会費制)～

》 2日目

あすの里山里海を担う人々との草の根の対話

日時 **2月20日(水)** 午前10時～午後0時30分

会場 **珠洲ビーチホテル 2F会議室**
〒927-1204 珠洲市蛸島町1-2-480

コメンテーター：パルヴィス・クーハフカン(GIAHS事務局長)

- プレゼンター：川上 和孝(農業生産法人スギヨファーム・能登里山マスター)
新井 寛(農家・いきものマスター受講生)
足袋拔 豪(崎マザーネイチャー・里山里海マスター受講生)
大野長一郎(大野製炭工場・能登里山マスター)
中谷 なほ(料理人・能登里山マスター)
萩野 由紀(デザイナー・能登里山マスター)

～終了後に昼食会(会費制)～

主催 ■ 能登キャンパス構想推進協議会 能登「里山里海マスター」育成プログラム
共催 ■ 国連大学高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット
後援 ■ 能登地域GIAHS推進協議会



問合わせ&申し込み

第1部・第2部ともに事前登録制です。

金沢大学内 国際GIAHSセミナー事務局 [宇野,水口] e-mail : akimizu@staff.kanazawa-u.ac.jp